

2019年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年9月7日

上場会社名 株式会社 光・彩 上場取引所 東
 コード番号 7878 URL <http://www.kohsai-gg.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深沢 栄二
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 野田 和幸 TEL 0551-28-4181
 四半期報告書提出予定日 2018年9月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年1月期第2四半期の業績 (2018年2月1日～2018年7月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年1月期第2四半期	1,164	16.5	39	171.7	40	210.2	30	341.7
2018年1月期第2四半期	999	△0.6	14	△58.1	13	△48.0	6	△68.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年1月期第2四半期	81.17	—
2018年1月期第2四半期	18.38	—

※2017年8月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年1月期第2四半期	1,855	1,131	61.0	3,022.52
2018年1月期	1,825	1,117	61.2	2,984.54

(参考) 自己資本 2019年1月期第2四半期 1,131百万円 2018年1月期 1,117百万円

※2017年8月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり純資産は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年1月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2019年1月期	—	0.00			
2019年1月期(予想)			—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年1月期の業績予想 (2018年2月1日～2019年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	7.1	70	11.9	70	16.7	50	—	133.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年1月期2Q	396,000株	2018年1月期	396,000株
② 期末自己株式数	2019年1月期2Q	21,665株	2018年1月期	21,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年1月期2Q	374,344株	2018年1月期2Q	374,371株

(注) 当社は、2017年8月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いていますが、米中貿易摩擦の深刻化や中東・アジア等の地政学的なリスクの高まりなどがあり、先行不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、個人消費の底堅さを実感できず、市場環境は厳しい状況が続いております。

この様な状況の下、当社におきましては、昨年発覚した経理部門責任者による不祥事を二度と起こさないために、管理部門及び内部監査室の体制を一新するなど、当社のコーポレートガバナンスの強化及び全従業員のコンプライアンス意識の向上に向けて全力で取り組んでまいりました。また、今般8月23日には東京証券取引所に再発防止に向けた改善措置等を記載した改善状況報告書を提出いたしました。今後も本報告書に記載した改善施策を継続的かつ確実に実行してまいります。

営業・製造面におきましては、特許商品であるピアスパーツ及び独自技術加工の完成品ジュエリー販売の好調や海外顧客の積極的な開拓によるこれらの商品の国外販売の増加に加え、これらの製品の採算性も向上したことにより、前年同期に比べ増収増益となりました。

また、資金面においては、実質無借金状態を維持しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,164百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益39百万円（前年同期比171.7%増）、経常利益40百万円（前年同期比210.2%増）、四半期純利益30百万円（前年同期比341.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ29百万円増の1,855百万円となりました。主な変動は、受取手形及び売掛金の増加33百万円、たな卸資産の増加99百万円、投資不動産の減少59百万円等によるものです。

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ15百万円増の724百万円となりました。主な変動は、支払手形及び買掛金の増加55百万円、未払法人税等の減少39百万円等によるものです。

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ14百万円増の1,131百万円となりました。主な変動は、利益剰余金について四半期純利益30百万円の計上による増加及び配当金の支払14百万円による減少があったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末残高に対して18百万円減少し、355百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、7百万円（前年同期は40百万円の支出）となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上や仕入債務等の増加があったものの、売上債権及びたな卸資産の増加等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、22百万円（前年同期は24百万円の支出）となりました。これは主に、投資不動産の売却による収入によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、34百万円（前年同期は33百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済及び配当金の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、特許商品であるピアスパーツ及び独自技術加工の完成品ジュエリーの販売好調等により、2019年1月期第2四半期累計期間の業績が前回（2018年6月11日）公表した業績予想を上回ったことから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2018年9月7日）公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	435,968	426,021
受取手形及び売掛金	314,233	347,656
たな卸資産	390,347	489,435
その他	65,785	16,005
貸倒引当金	△12,490	△14,232
流動資産合計	1,193,844	1,264,886
固定資産		
有形固定資産	310,326	329,520
無形固定資産	16,458	13,709
投資その他の資産		
投資有価証券	30,078	28,363
長期未収入金	199,004	199,004
投資不動産(純額)	177,445	118,210
その他	147,560	150,834
貸倒引当金	△248,910	△248,910
投資その他の資産合計	305,178	247,502
固定資産合計	631,963	590,731
資産合計	1,825,808	1,855,618
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	120,253	175,763
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	35,208	35,176
未払法人税等	54,575	14,897
賞与引当金	—	13,921
その他	91,293	84,931
流動負債合計	621,330	644,690
固定負債		
長期借入金	28,472	10,900
役員退職慰労引当金	25,541	24,283
退職給付引当金	25,640	29,710
その他	7,576	14,599
固定負債合計	87,229	79,492
負債合計	708,560	724,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	29,918	45,329
自己株式	△30,876	△30,901
株主資本合計	1,110,482	1,125,867
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,765	5,567
評価・換算差額等合計	6,765	5,567
純資産合計	1,117,247	1,131,435
負債純資産合計	1,825,808	1,855,618

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年2月1日 至 2017年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)
売上高	999,049	1,164,285
売上原価	816,846	919,451
売上総利益	182,202	244,833
販売費及び一般管理費	167,767	205,618
営業利益	14,435	39,215
営業外収益		
受取利息	—	2
受取配当金	—	486
受取地代家賃	813	6,160
雑収入	2,488	1,581
営業外収益合計	3,302	8,231
営業外費用		
支払利息	1,300	1,155
為替差損	372	167
不動産賃貸原価	—	5,594
支払補償費	3,000	—
雑損失	—	0
営業外費用合計	4,673	6,918
経常利益	13,063	40,528
特別利益		
投資不動産売却益	—	1,160
特別利益合計	—	1,160
特別損失		
投資不動産売却損	—	1,691
特別損失合計	—	1,691
税引前四半期純利益	13,063	39,998
法人税、住民税及び事業税	6,184	9,613
法人税等合計	6,184	9,613
四半期純利益	6,879	30,384

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年2月1日 至 2017年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	13,063	39,998
減価償却費	13,237	18,352
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	395	4,070
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,250	△1,258
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	316	1,742
受取利息及び受取配当金	△33	△489
投資不動産売却損益 (△は益)	—	530
支払利息	1,300	1,155
為替差損益 (△は益)	372	△215
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,061	△33,422
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,634	△99,088
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,421	55,510
未払債務の増減額 (△は減少)	6,477	32,424
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,222	△17,405
その他	2,320	13,002
小計	45,203	14,907
利息及び配当金の受取額	33	489
利息の支払額	△1,300	△1,155
不正による支出額	△78,157	—
過年度決算訂正関連費用の支払額	—	△3,240
法人税等の支払額	△6,485	△18,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	△40,705	△7,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,010	△9,000
有形固定資産の取得による支出	△10,102	△18,310
無形固定資産の取得による支出	△1,600	△420
投資不動産の取得による支出	—	△4,442
投資不動産の売却による収入	—	62,329
その他	△3,345	△7,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,056	22,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△17,604	△17,604
自己株式の取得による支出	—	△25
リース債務の返済による支出	△604	△1,391
配当金の支払額	△14,868	△15,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,076	△34,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	△372	215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△98,210	△18,947
現金及び現金同等物の期首残高	507,979	374,492
現金及び現金同等物の四半期末残高	409,769	355,544

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。